

## MTB FESTIVAL Spring 2012 in 緑山スタジオ J2 レースレポート

大会名： MTB FESTIVAL Spring 2012 in 緑山スタジオ J2

期日：2012年4月1日（日）

会場：緑山スタジオ・シティ特設コース

天気・気温：晴れ・15℃

競技種目：男子エリート 2.1km×12周回

出場者数：49名

結果：優勝

.....

2012年シーズンの幕開けとなる MTB FESTIVAL Spring 2012 in 緑山スタジオ J2 大会。シーズンを占う意味でも開幕レースは非常に重要であり、特別な思いと緊張感に包まれる。J2 とは言え、レースに対する意識やアプローチは J シリーズと変わりはない。チームスタッフ、メーカーのサポートスタッフ、友人であるトレーナー・・・十分過ぎる程の体制でレースに挑めることが何よりも心強い。レースに 100% 集中出来る条件の中、今出来る最大限のことを自分なりにやろうと心に決め、集中力を高めていった。レース前日は強風と大雨により、コースコンディションはセミウェット。場所によっては完全マッド状態な場所もあり、バイクコントロールが難しい。しかし、時間を掛けしっかりとコースを試走し、勝負ポイントを探っていく。ゆっくりでは簡単に思えるセクションもスピードを上げれば難しく、タイトなコーナーは入念にチェックをして前日の試走を終えた。レース当日、前日の雨が嘘のようなピーカンの天気。コース状況は時間が経つにつれ徐々に回復していき、ほぼドライコンディションに変化していく。悩む事なく IRC / MYTHOS XC 29er タイヤをチョイスしアップを開始。特別なことはせずにいつも通りやろう。そう自分に言い聞かせ、気持ちをリラックスさせる。男子エリートのスタート時間は 14 時 40 分といつもより遅め。スタート招集が開始され、ゼッケン順にスタートラインに並んで行く。1 列目のセンターをキープした。レースのイメージを思い描きながら、号砲を待つ。そして号砲一発！反応良くスタートを切った。今回のコースはシングルトラックが多いので、何としても前方に位置することを心掛けたが、若手選手（高校生）は非常に元気が良い。先行を許す形になり 5 番手で最初のシングルトラックに進入。もっともっと前に行きたい・・・ペースもアップしたい。しかし前の選手に阻まれ前方に位置取れない。集団内ではなるべく無駄脚を使わないように心掛ける。コースの 7 割はシングルトラック。登りらしい登りはなく、かなりハイスピードコースだ。その分、脚を休める区間が少ないので正直しんどい。テクニカルセクションはないが、リズム良く、正確にバイクをコントロールしないとミスをしてタイムロスに繋がってしまう。1 周目を 3 番で通過し 2 周目へ。相手のちょっとしたミスやスペースを見逃さず、前へ前へと上がっていく。3 周目中盤にトップに立ち、一気にアタック。自分のペースとラインを見極めて走り、後続は徐々に離れていった。周回を重ねるにつれタイム差が付き、6 周目には 50 秒程の差が付いた。心の中で

いい展開だ、と思いつつも、焦るな、焦るなと言ひ聞かせた。7周目あたりから SPECIALIZED の小野寺選手が一気にペースアップをして追走して来る。彼の実力は十分に理解している。昨シーズン中盤戦からシリーズ4連勝を飾り、シリーズチャンピオンになった選手だ。今年は彼と一緒に愛知県の渥美半島で合宿を行った。彼は進化している。しかし自分も進化している。過去の結果や実績は今シーズンに限っては関係ない。このタイム差を逃げ切るといよりも、差を詰めさせない走りを意識した。40秒、30秒、25秒、18秒、、、すぐ後ろに迫ってきているのは分かっていた。泣いても笑っても後1周で勝負は決まる。ファイナルラップに突入し、タイム差は22秒。右脚の脛は痙攣し力が入らない……。しかし気持ちだけは強く持ってプッシュした。勝ちたいと思う気持ちが強い方が勝つ。それは十分理解している。沢山の声援を受け、最後まで集中力を切らさずにトップでゴールした。2位小野寺選手とのタイム差は25秒。脱水からくる痙攣に心が折れそうになったが、スタッフや応援して頂いた皆さんのお陰で最後まで頑張れた。シーズン初戦が無事に終わり、色々な感情が込み上げてきた。もっと強くなろう。純粹にそう思えた。いい時こそ変えるな、ではなく、いい時こそ変えろ。スキーヤーだった時代に自分のコーチが言った言葉。今回優勝できたことで見えた微かな光、この経験が今後、より自分を強くさせると信じて頑張っていきたいと思います。たくさんの応援、サポート本当にありがとうございました。次戦も熱い走りができるように頑張りますのでご支援、ご指導よろしくお願いします。

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 齊藤 亮

#### 【レース結果】

1. 齊藤 亮 長野県/MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
2. 小野寺健 京都府/TEAM SPECIALIZED
3. 池田祐樹 東京都/TOPEAK-ERGON
4. 大江良憲 神奈川県/轍屋
5. 合田正之 埼玉県/サイクルクラブ 3UP
6. 前田公平 東京都/ENDLESS/ProRide

#### 【使用機材】

バイク : MERIDA / BIG.NINE CARBON TEAM-D  
フロントフォーク : DT-SWISS / XMM100-29 TS REMOTE TAPER  
クランクセット : SRAM XO BB30  
サドル : SELLE ITALIA SLR XC  
ホイール : XCR 29er SUPER COMP  
タイヤ : IRC / MYTHOS XC 29er TUBELESS READY29×2.1  
シューズ : NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S

ヘルメット：KABUTO / REDIMOS(トレースイエロー)

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル：[HOLMENKOL](#)

メーター：POLAR / RS800CX BIKE

エネルギージェル：shotz ENERGY GEL

ドリンク：Electrolyte shotz

レースソックス：deuter

レースグローブ：KABUTO / PRG-1(ブラック)

インソール：SUPER feet / Black

ネックレス：erg / シリコネックレス(ホワイト)

アパレルウェア：Columbia

テーピング：New-HALE / X テープ

